

本屋「わおん書房」店主の廣部貴子です。

私がフリーランス塾に応募したのは、“「仕事の親友＝仲間」を作りたい！”と思ったのがきっかけです。

2019年4月に北陸の地方都市「福井」に小さな書店をオープンして半年。「小さな街の小さな本屋を世界に開かれた文化の広場にしたい！」夢は大きく持ったものの、課題は山積みで孤軍奮闘する毎日。そんな時目に入った「フリーランス塾メンバー募集」の告知。「これだ！」と思ってすぐに小論文を書いたのですが、実は締切ぎりぎりまで提出を迷いました。

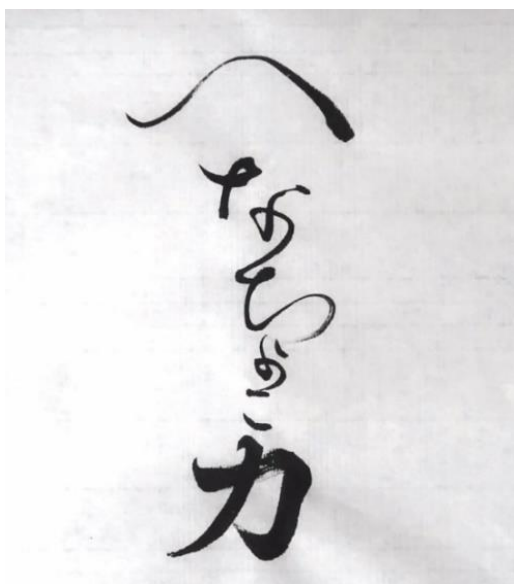
「私には応募資格があるのか？」

田中塾長のメッセージから伝わる並々ならぬ覚悟と本気度。塾に参加して私は何が提供できるだろう？とずいぶん悩みました。でも提供できそうなものは、ほとんどなかった(笑)！あえてアピールできたのは「強力な晴れ女」であることくらい（集まるのは全てオンラインになったので、結局これも役に立たなかったww）。

迷ったあげく、締切の1時間前に小論文を提出。運良く塾に入れて頂いたときは本当に嬉しかったです。なにより嬉しかったのは世界中に仲間ができたこと、安心して本音で語り合える場があったこと（激動の2020年を乗り越えられたのは、フリーランス塾があったからこそ）。そして、、、オンラインで連続イベント「わおん祭り」を開催、世界中と繋がれたこと！

「わおん祭り」は仲間がワイワイ私を担ぎ上げてくれたからこそ実現しました。

「あれ～？」「どうしたらいいの??」超IT音痴の私が途方に暮れてつぶやくと、すかさず仲間がフォローしてくれます。自力ではどうしようもないことも、見かねた周囲が寄ってたかって助けてくれる。この「へなちょこ力（＝田中塾長命名）」がどうやら私の武器だったようです。こんな隠れた自分の才能(?)に出会えるのもフリーランス塾ならではかもしれません。



\*こちらはフリーランス塾のイベントで知り合った書家の田坂州代さんが書いていただきました。こうした出会いもフリーランス塾の魅力のひとつ。

2021年、フリーランス塾は大きく変わります。

へなちょこ先輩ではありますが、新しいメンバーの皆さんと一緒に新しい未来に向かって進んでいけることを楽しみにしています。「勇気と笑顔」さえあればきっと大丈夫！ご応募お待ちしております！！